【問題一】　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

「Welcome to the K manga launch party!」

23年6月、講談社は漫画アプリ「K MANGA」の米国市場での提供開始にあわせて、記念イベントを動画配信した。司会進行は全て英語。少年マガジン連載の『FAIRY TAIL(フェアリーテイル)』で知られる真島(ましま)ヒロら著名作家がゲストとして登場し、現地の視聴者を沸かせた。K MANGAは『進撃の巨人』や『東京卍リベンジャーズ』など日本漫画400タイトルをスマホやパソコンで読めるようにしたのが特徴で、最初の数話は無料で閲覧できる。講談社は08年に子会社を設立して米国に本格進出し、これまでは紙の書籍の販売をメインとしてきた。漫画アプリの自社での展開は今回が初めてとなる。

もちろん日本勢も海外(1)開タクに興味がないわけではない。A各社は近年、ネットを通じて事業のグローバルを積極的に進めている。ここでも頭一つ抜けた存在になるのが集英社だ。同社は19年から、海外向け配信プラットフォーム「MANGA Plus by SHUEISHA」を運営し、ウェブサイトとアプリの合計利用者数は月間約600万人に達する。当初は英語版のみだったが、中南米や東南アジアから想定以上にアクセスが押し寄せたために、現在はスペイン語やタイ語、インドネシア語など8カ国語に対応した。

配信作品は、『NARUTO』や『BLEACH』といった完結作以外に、少年ジャンプやジャンプ+などで連載中の作品をそろえている。23年からは英訳作業を早めて、一部の連載作品を日本と同時に配信し始めた。熱心な海外ファンの要望に応えた形だが、これにはネット上での「バズ(注目)」を喚起する狙いも隠されている。SNSが浸透し、「ハッシュタグ(検索目印)」によって遠くの人ともリアルタイムでつながりやすくなった。国内外の読者が同じタイミングでページを開き、作品の感想を投稿するようになれば、ファン同士の一体感や熱気はさらに高まるとみているのだ。

(2)中ケンや準大手も海外事業に意欲旺盛で、白泉社(はくせんしゃ)(東京)はケニアやナイジェリアなどで、漫画アプリ「Manga Park W」を投入した。ダーク・ファンタジーの傑作『ベルセルク』や、ギャグ漫画『デトロイト・メタル・シティ』の英訳版を扱うほか、日本人の継父(けいふ)とカメルーン人の母親を持つ作家の星野(ほしの)ルネと組んで新規の作品も企画した。アフリカは人口に占める若年層の割合が高く、都市部ではスマホも普及しているため、B漫画アプリとの相性が良いと判断したのだという。

ほかにも、漫画雑誌「月刊少年ガンガン」を発行するスクウェア・エニックスは22年夏に、漫画アプリ「Manga UP!」をグローバル市場で始動させた。「ハガレン」の愛称で親しまれる『鋼の錬金術師』などの有名作品を英語に翻訳して配信している。同社は日本国内では以前から漫画アプリを運営しているが、海外版は今回が初の試みだ。そのためサービス開始早々、経験不足を露呈するような出来事も起きている。性的表現に厳しいイスラム圏を含む全地域で配信するため、女性の胸元や太ももなどの露出部分に一様に黒塗りする処理を施したところ、各国の読者から「対象部分が多すぎて、内容の理解に支障をきたす」とのクレームが殺到したのだ。同社は「今後は違和感が出ないように、絵を部分的に修正することで対応していきたい」と釈明に追われた。

日本の出版社が海外進出に長年手をこまねいていたのは、国内の漫画市場が巨大で、Cあえて苦労を買う意義を見出せなかったのが原因だろう。韓国の場合は自国の市場が小さく、日本よりも少子化が加速している、といった(3)切パ詰まった事情があった。また、ネイバー新CEOの崔秀妍(チェスヨン)がハーバード大法科大学院に留学した経験を持ち、同じく女性で今春にカカオCEOに就任予定の鄭臣雅(チョンシンア)も米一流大のMBA(経営学修士)を保持するなど、企業の経営幹部に英語の堪能な人材が多いことも異国でのビジネスを進める上で有利に働いている。

ただ、それとは別に、タテとヨコの表現形式の違いが海外戦略の(4)巧セツに大きな影響をもたらしている。どういうことか。横読みの漫画の読解には複雑な「ルール」を知る必要があることから、グローバル展開のハンディとなるのだ。ページ内のコマを右から左、そして上から下に視線を動かして読み進める、いわゆる「逆Z字」のルールは日本人にとっては常識だが、海外の人からすると慣れるまでに時間がかかるそうだ。かつては日本でも、コマの隅に読む順序を示すノンブル(数字)が書かれていたくらいだから、初見ですらすらと読みこなせるものではない。

さらに、紙の書籍の場合、日本は右にページを開くように製本するが、英語圏では左開きが主流となる。漫画を手に取った外国の読者は、そこでも戸惑いを感じる。モノクロの日本漫画は、完成品に見えないとの理由で敬遠する人もいるという。反対に、ウェブトゥーンは全面カラーで、「I」の字のように縦一列に並んだコマを読み進めるだけなので誰でも迷う心配がない。登場人物のセリフの量を少なくして読み手の負担を極力減らし、途中で飽きないように効果音や振動と組み合わせた演出をする場合もある。

敷居の高さを喩(たと)えるなら、ウェブトゥーンは大手チェーンの大衆居酒屋、日本漫画は「D「いちげんさんお断り」の料亭といったところだろう。どちらの方が街中に数多くあるか、つまり経済規模が大きいかは言うまでもない。ネイバーグループの漫画プラットフォームの月間利用者数は全世界で約9千万人と、日本勢のはるか先を行く。

縦読みの方が海外市場に挑戦しやすいことから、横読み漫画をウェブトゥーンにリメイクする動きも出ている。手塚治虫作品を管理する手塚プロダクション(東京)は22年、戦国時代を舞台にした『どろろ』のウェブトゥーン版を作ると発表した。制作は韓国人のウェブトゥーン作家と韓国の大手スタジオが受け持ち、完成作品は日韓および中国で配信された。手塚プロの関係者は「日本漫画を読んだことがない人にも楽しんでもらえた。英語圏でも展開する予定です」と話す。手塚の漫画作品は、世界約20カ国で発売されているとはいえ、代表作の『鉄腕アトム』が米国で翻訳されたのは02年。実は、割と最近のことなのだ。

一方、アニメは古くから海外進出が進んでいる。漫画のようにE面倒な読解ルールはなく、カラーなので万人にとって受け入れやすい。テレビアニメ「鉄腕アトム」が「アストロ・ボーイ」に名前を変えて米NBCで放送されたのは、今から約60年前の1963年になる。ちょうどテレビ業界が映画の需要を

奪いながら急成長しているタイミングで、全米各地で高い視聴率を記録した。翌年、ＮＢＣの担当プロデューサーが来日して記者会見し、「今やアメリカの子どもで〝アストロ・ボーイ〟を知らない子どもはいない」と語った記録も残る。66年には同じく米国で「ジャングル大帝」のアニメ版が放送された。

70年代にはフランスで、いがらしゆみこの「キャンディ・キャンディ」や永井豪の「ＵＦＯロボ　グレンダイザー」などがテレビ放送されてブームを巻き起こした。日本アニメが海を渡って躍進したのは、手塚が編み出した独特の制作手法にも起因している。ディズニーなどの本格派アニメに対し、漫画の絵を動画の素材に使い回したり、コマの枚数自体を減らすなどして制作工程を徹底的に省力化したのだ。この「リミテッド・アニメーション」と呼ばれる手法は絵の動きこそ乏しいが、低予算かつ短納期で作れることから、日本のアニメ業界で浸透する。そして、調達コストの安さに着目した海外の放送局から声がかかるようになった。

つまり、漫画だけでなく、[F]戦後の日本アニメの礎を築いたのは、手塚治虫に他ならない。手塚は中学時代の漫画作品の冒頭に「これは漫画にも非ず、小説にも非ず」と記すなど、常に新たな表現を貪欲に追求した。それをふまえると、長女・るみ子が「父が生きていたら、おそらく縦読み漫画にも挑戦していたのではないでしょうか」と取材に語ったのも合点がいく（ちなみに、手塚家と縦読みの縁は深く、るみ子の夫・手塚憲一はウェブトゥーン制作会社の代表を務めたこともある）。

[G]漫画の海外展開を阻む壁は他にもある。それは「海賊版」の存在だ。海賊版とは、権利者に無断で世の中に出回っている非合法な作品を指す。かつては紙の書籍をコピーした粗悪品も多かったが、デジタル化の進展で本物同等の品質で簡単に複製・拡散できるようになり、その流通量は年々拡大している。アニメの海賊版被害も深刻だが、動画と比べて漫画はデータ量が少なくインターネット上で閲覧しやすいため、世界各地で違法サイトがはびこっている。この手のサイトを運営する犯罪組織は広告を表示して資金を稼ぐため、作品は無料で公開されるケースが一般的だ。

ただ、海外の漫画ファンが海賊版に飛びつくのは、必ずしもお金の節約のためだけではないという。北米の読者を主な対象にしたアンケート調査では、海賊版の漫画を読む理由について、「タダで読みたいから」（約46％、複数回答可）を「公式より早く読みたいから」（約57％）が上回った。自国で正規版が発売されなかったり、発売されたとしても遅かったりして、やむなく読む場合も多い。日本の出版社はまず国内向けに単行本を販売し、翻訳工程を経て外国で投入するため、どうしても日本と海外ではタイムラグが生じてしまう。この時間差が、海賊版サイトを生み出す土壌になっていた。そこで、出版業界はサイトボク滅[5]に向け、翻訳の高速化に取り組んでいる。

大手各社が助けを求めたのは、東大発のスタートアップ企業、Ｍａｎｔｒａ（マントラ、東京）だ。同社が漫画用に開発した翻訳システムは、ＡＩがコマの順番を理解した上で、吹き出し内の文字を識別するので、前後の文脈をふまえて自動で訳すことができる。1ページにかかる時間は30秒程度で、早ければ約1時間で単行本1冊分を訳せる。英語や中国語、スペイン語など全14言語に対応可能。漫画は特殊なフォントや独特の話し言葉、オノマトペを多用するため完全機械化の難易度は高く、現段階ではＡＩが処理した後に補完的に人の手による校正を行っている。それでも一般の翻訳会社と比べて段違いの作業スピードだ。従来なら1冊当たり数十万円かかる費用も大幅に安く済む。21年に小学館が協業を開始し、22年夏には集英社もマントラに出資して連携を強化した。

出版業界から引っ張りだこのマントラだが会社の歴史はまだ浅く、ＣＥＯの石渡祥之佑が東大大学院の博士課程を修了後、20年に設立した。日中のハーフで日本育ちの石渡は、子どもの頃に学校が夏休みに入ると中国の祖父母の下に滞在した。そこで目にしたのは、日常的に日本の漫画やアニメを楽しむ子どもたちの姿だった。領有権問題など日中はさまざまな課題を抱えるが、漫画の人気キャラクターが無意識に日本への親近感を醸成している。その実体験がのちの起業につながった。「漫画の海外展開は、日本の国際関係の構築にとっても非常に意義があります」と、石渡は語る。

この海賊版問題に加えて日本の出版社の重荷となってきたのが、海外での本の流通事情だった。例えば米国は国土が広いにもかかわらず、日本のように大きな取次会社がなく、各都市にくまなく書籍を流通させるのは骨の折れる作業になる。かつて漫画はオタク向けのコミック専門店で主に販売されており、一般書店の陳列棚に置かれることも少なかった。

日本漫画の翻訳者で評論本『Manga! Manga! The World of Japanese Comics』を１９８３年に執筆した米国人作家のフレデリック・ショットは、同書にて次のように述べている。「日本のコミックスはトヨタやソニーの後を追うことになるのだろうか。海外で直面する障壁は大変厄介なものであろう」。

そして、[H]不吉な予言は現実となる。２０００年代に小学館と集英社などが共同出資会社を米国で立ち上げて、現地向け「ＳＨＯＮＥＮ　ＪＵＭＰ」を販売したが、収益化は難しく十年足らずで紙媒体の刊行から撤退した。05年には少女漫画誌「Ｓｈｏｊｏ　Ｂｅａｔ」を発売するが、こちらも数年で休刊している。街中の書店で雑誌を買う日本と異なり、米国は郵送による定期購読の比重が大きく、読書文化の違いにも苦しんだ。昨今、米国ではアニメブームの恩恵で日本漫画の単行本の販売が伸びているが、ウクライナ戦争の余波で輸送費や原材料費が高騰し、1冊あたりの希望小売価格は10ドルを優に超えてしまう。先進国ならまだしも、所得水準の下がる新興国において値上がりの影響は計り知れず、東南アジアでウェブトゥーンが勢力を広げる要因となっている。

そもそも新興国では、書店の数が少ない国は珍しくない。日本国内の書店数は約1万店に達するが、約7千万人の人口を持つタイはたったの８００。日本貿易振興機構（ジェトロ）によると、電子書籍へ読者が流れ、実店舗の数は直近の10年間で3分の1に減った。総合的にみて、スマホに特化したウェブトゥーンの方が世界展開には合理的といえる。実際、ＫＡＤＯＫＡＷＡは22年から「総合翻訳管理センター」という社内部署を稼働させて翻訳体制を強化し、自社で英訳した縦スクロール作品を海外に向けて配信している。講談社時代にベストセラー作品『バガボンド』や『ドラゴン桜』などを手がけた漫画編集者の佐渡島庸平も自らのウェブトゥーンスタジオで制作した作品を将来的に中国の漫画アプリに提供する計画だ。

小川悠介『漫画の未来』／光文社新書

問一　傍線部（1）～（5）のカタカナに該当する漢字を含む熟語として最も適切なものを①～④から選び、番号をマークしなさい。

（1）開タク　①信託　②拓殖　③贅沢　④卓球

（2）中ケン　①堅固　②権利　③賢人　④圏外

（3）切パ　①刃傷　②端数　③覇権　④羽根

（4）巧セツ　①拙攻　②説得　③設置　④接戦

（5）ボク滅　①素朴　②白墨　③打撲　④司牧

問二　傍線部Ａ「各社は近年、ネットを通じて事業のグローバルを積極的に進めている」とあるが、その例を説明したものとして**不適切なもの**を次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 集英社は19年から、海外向け配信プラットフォームを運営し、ウェブサイトとアプリの合計利用者数は月間約６００万人に達し、当初の英語版のみの運営も各地からアクセスが殺到したため、スペイン語、タイ語、インドネシア語などの8カ国語に対応した、ということ。

② 白泉社は日本人の継父とカメルーン人の母親を持つ作家と連携して、ケニアやナイジェリアなどのアフリカの国々に漫画アプリを投入し、多数の漫画の英訳版を発信するとともに、市場を広げるための新規の作品制作の企画を当地において試みた、ということ。

③ 以前より日本国内では漫画アプリを運営していたスクウェア・エニックスは22年夏に、漫画アプリをグローバル市場で始動させ、「ハガレン」の愛称で親しまれる『鋼の錬金術師』などの著名な作品を英語に翻訳して配信を開始した、ということ。

④ スクウェア・エニックス社は、性的な表現に厳しいイスラム圏の地域でも配信するために、女性の露出部分に一様に黒塗りする処理を施したところ、黒塗りの対象部分が過剰で、内容を把握することが出来ないといった苦情が各国から殺到した、ということ。

問三　傍線部Ｂ「漫画アプリとの相性が良い」を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① ターゲットとする若い年齢層が多く、スマホの普及率の高いアフリカの国々では、これから大きな市場になることが潜在的に期待できること。

② アフリカの国々の人は、老若男女を問わず、日本の文化に関心を持っており、漫画についてはその中でも特に好意的な印象を抱いていること。

③ 日本人とアフリカ人の国際結婚の機会が増えており、ここしばらくで、アフリカの人達にも漫画アプリが広く知られるようになってきたこと。

④ アフリカの国々では、日本人が考えている以上にスマホが人々に普及しており、金銭的に余裕のある層の人々の利用を大いに期待できること。

問四　傍線部Ｃ「あえて苦労を買う意義を見出せなかった」理由を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 海外の国には、それぞれの国の漫画があり、それらの漫画を排除するような形での海外進出を意図的に望まなかったから。

② 海外で日本の漫画に興味のある人達は、向こうから日本の漫画を買いに来たため、海外に売りに行く必要がなかったから。

③ 漫画の販売で利益をあげるための日本国内の市場の大きさは十分なものであり、海外で販売するメリットが無かったから。

④ 海外で日本の漫画を販売する事業に傾注することによって、日本国内における既存の事業が疎かになることを恐れたから。

問五　傍線部Ｄ「いちげんさんお断り」の内容を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 利用客からの紹介なく初めて来た客はその店舗を利用できない、ということ。

② 同伴するものなしで一人だけで来た客はその店舗を利用できない、ということ。

③ キャンセルを一度でもしたことのある客はその店舗を利用できない、ということ。

④ 店主から気に入られた客でなければその店舗を利用できない、ということ。

問六　傍線部Ｅ「面倒な読解ルール」の内容を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 海外で販売が許可されるためには、漫画の読み方を知らない人のためにノンブルを付けなければならない、ということ。

② ページ内のコマを右から左、そして上から下に視線を動かす、「逆Ｚ字」の順番で読まなければならない、ということ。

③ 海外の国ではモノクロの日本漫画は完成品として扱わないため、着色してから販売しなければならない、ということ。

④ 日本では右開きに製本するが、左開きで本を製本する国では、順番を反対にして作り直さなければならない、ということ。

問七　傍線部Ｆ「戦後の日本アニメの礎（いしずえ）を築いたのは、手塚治虫に他ならない」の理由を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 手塚治虫の漫画作品は世界20カ国で販売されていて、手塚の作品を管理する手塚プロダクションは、ディズニーと肩を並べるほどの国際的な知名度を持っており、今後も漫画アプリを通して、韓国や中国をはじめ、世界に向けた日本アニメの発信の拠点となることが濃厚と噂されているから。

② １９６０年代にアメリカでのアニメ放送に成功した手塚は、そのノウハウを用いて、70年代に「キャンディ・キャンディ」のいがらしゆみこや「ＵＦＯロボ　グレンダイザー」の永井豪をフランスに派遣して、ヨーロッパやアフリカにおける日本アニメの大ブームを起こしたから。

③ 手塚は漫画の絵を動画の素材に使い回したり、コマの枚数自体を減らしたりするなどして制作工程を徹底的に省力化することによってアニメ制作の低予算化に成功し、その安さに目を付けた海外の放送局から作品を購入されるようになったから。

④ 1963年に手塚が制作したテレビアニメ「鉄腕アトム」が米NBCから放送され、アメリカの子ども達から多くの支持を集め、全米各地で高視聴率を記録したり、独特の制作手法によって低予算かつ短納期を実現したりして、日本のアニメの世界的なブームの先駆けとなったから。

問八　傍線部G「漫画の海外展開を阻む壁は他にもある」の内容を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① アメリカやヨーロッパなどには、漫画の権利を管理する大規模な企業が多数あり、日本の漫画を海外に輸出する際には、それらの企業と巨額の契約を結ばなければならず、海外市場における自由な競争に参加することができなくなっている、ということ。

② 海外の市場に海賊版が出回ると、日本にいる漫画の権利者は、海賊版の流通を防止するために国際的な機関に連絡して、海賊版の回収、廃棄の申し出をしなければならないが、この手続きに漫画を制作する以上のコストがかかってしまう、ということ。

③ デジタル化の進展によって、インターネットを通じて正規の漫画よりも廉価で閲覧することのできる海賊版のサイトが世界各地に広がったため、わざわざ日本に足を運んで漫画を購入する海外の熱心なファンが少なくなってしまっている、ということ。

④ 本物同等の高品質で簡単に複製ができ、インターネットで簡単に拡散できるため、海賊版を無料で公開する違法サイトが世界各地にはびこり、犯罪組織が漫画とともに表示される広告で収入を不当に稼ぎ、正規の漫画の売り上げを奪っている、ということ。

問九　傍線部H「不吉な予言は現実となる」の内容を説明したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 日本の他の大企業のように大きな不況が長引く影響を受けて、米国の市場から完全に撤退せざるをえなくなってしまった、ということ。

② 米国で日本の漫画の出版社が紙媒体の書籍の販売から撤退したり、刊行した雑誌が数年で休刊に追い込まれたりしている、ということ。

③ 郵送による定期購読で書籍を購読するのが一般的な米国では、漫画を公共の場で読むという文化自体が定着しなかった、ということ。

④ ウクライナ戦争の余波で輸送費や原材料費が高騰し、東南アジアを中心とした地域での漫画の売り上げが急激に落ちた、ということ。

問一〇　次のイ～ニについて、本文の内容と合致するものには①、合致しないものには②を、それぞれマークしなさい。

イ　集英社は漫画の翻訳の作業を早めることによって、国内外の読者が同じタイミングでページを開き、作品の感想を投稿するようになれば、ファン同士の一体感や熱気がこれまで以上に高まると予想している。

ロ　日本よりも少子化が加速している韓国では、海外の大学や大学院への留学経験者達が企業の営業幹部となってビジネスを進めており、日本の出版社は彼等から漫画を翻訳する技術を学んでいる。

ハ　日本の出版社はまず国内向けに漫画の単行本を販売し、翻訳工程を経て外国で投入するため、日本と海外で時間的な差が生じ、この差が海賊版サイトが生まれる原因となっていた。

ニ　最近の漫画の海賊版はたいへん品質が高く、国内外の多くの漫画愛好家から支持を受けていて、もうしばらくすると正規版の漫画の売り上げを脅かす存在になると噂されている。

【問題二】　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

明治以降の東京が西欧都市を(1)ハンにしたとはいえ、異文化が最初からシステム全体として導入され、そのまま受け容れられるはずがない。見よう見まねの[a]の学習と日本流の巧みな解釈を経て、西欧の建築と都市の造形手法が江戸のしっかりと組み立てられた都市の文脈のなかに徐々にとりこまれながら、結局、東京にしかない独特の都市の景観や空間を創り出したと考えられるのである。したがって、現代の東京を理解するにはまず、江戸の町の仕組みを知らなければならない。そして、その上に展開した明治以降の近代の都市形成のメカニズムを追求することが必要なのである。この章では、以上のような観点に立ち、いくつかのテーマを設定しながら、江戸・東京の都市空間の特徴を具体的に解き明かしていこうと思う。

都市の印象をまず大きく規定するのは、その空間に見られるスケール感である。西欧の都市と比べると、江戸・東京の都市は二重の意味で独特のスケール感をもっていたといえよう。

まず、武蔵野台地の突端の東京湾を望む場所に立地しながら、それをとりまく雄大な大自然との関係を強く意識して、壮大なスケールの町づくりを行なったことである。大地の起伏、水面、植生、それと結びついた土地利用と一体となって創り出される町のシルエットが調和的な美を構成していた。しかも、実際の距離としては遠く離れてそびえる富士山や筑波山に象徴的な意味がこめられ、都市を座標軸の上に位置づける恰好（かっこう）のランドマークとして強く意識されていた。古来日本には、山そのものを神の霊の宿る御神体とみなす考え方が全国各地に見られるのである。

図　広重　駿河町

西欧ならば、都市を俯瞰（ふかん）した地図の中には背後に山並みを描く場合もあるが、都市内で人間の眼の視点から都市空間を描きながらその背後にシンボルの山を描くということはまずありえまい。一歩城壁の中に入ってしまえば、そこはもはや自然から遮断（しゃだん）された人工的な都市空間なのであり、人間が築いた建造物が都市美を創り出している。ところがA日本の都市には、都市内部と外に広がる自然風景との間に緊密なやりとりが見られる。広重の「名所江戸百景」に典型的に見られるように、江戸の町では日本橋、桜田門、回向院などいたる所で富士の姿がその場所の景観を印象づけていた。最も繁華な町人地である駿河町の町並みが富士を背景にして描かれた構図はあまりにも有名である（図）。明治に入って、三井組の和洋(2)折チュウ建築がそびえる文明開化の時代を迎えても、全く同じ構図で三代広重がこの都市空間を描いている。

桐敷真次郎氏は、東京の正確な地図の上で作図、分析を行なって、日本橋本町の町割がランドマークとしての富士山を望む方向にぴたりと合わせて設計されている、という興味ある解釈を示している。同時に、日本橋と京橋を結ぶ通町も筑波山を同じようにランドマークとしてつくられているというのである。

いつの時代にも、都市計画を行なうには何らかの手掛りが必要である。計画者の心理として、町割を行なうには、その方向を決めるための根拠を求めるのに違いない。京都、奈良のような古代条(3)ボウ制に基づいた古代都市では東西、南北の明確な座標軸の上に町割がなされ、しかも陰陽学の四神相応の考えに基づき計画がなされている。それに対し、B江戸の下町は、後に開発された江東地区を除けば、格子状プランをとりながらも、いずれも方向が南北―東西の向きから大きく振れているのである。

その理由としては、一つには、江戸の城下町が開発される以前に遡（さかのぼ）る自然の原地形によって説明できよう。東京湾の江戸湊（みなと）には、北の神田山のすそを流れる旧石神井川をはじめとする中小河川が注いでいた。江戸の流通上最も重要な地点の一つ、伊勢町のある東堀留、西堀留の掘割は、これらの河川の名残りとみられる。そして本町町割がこれらの向きとぴたりと一致する形で格子状に割られていることからすると、その計画にとっての根拠はまずは原地形との対応にあったと推測できる（鈴木理生『江戸の川・東京の川』）。

だが同時に、そういった割り付けが富士山をランドマークとする象徴的な街路構成をも生み出すとなれば、計画の拠り所としてはまさに[b]であった。おそらく、原地形からの物理的規定性と町づくりの象徴的イメージとが幸運にもあい重なりながら、この町割が決まったものと考えてよいのではなかろうか。

こうして都市を包む周囲の地形、大自然との関係のなかで壮大なスケールによる都市づくりが構想されたといえよう。したがってC江戸では、都市のなかでの〈遠景〉が決定的に重要なものとして認識されていた。都市を描いたパノラマのなかで、富士、筑波山などの実際には遠く隔たった要素が、むしろ(4)コ張され、手前に引きつけられて大きく堂々と描かれているのである。また逆に、市街地に接して張り出す山の手の武蔵野台地に上れば、あちこちの坂の上から、あるいは木々に包まれた寺社の境内から視界が大きく開け、下町の瓦屋根の大海原の向こうに東京湾の潮が遠望できたのである。江戸時代から潮見坂と呼ばれていた坂は、東京に八つある（横関英一『江戸の坂東京の坂』）。

ところが、一方でこのような壮大なスケール感を有する江戸の町にあっても、実際の市民の生活の場である都市の内部の空間は、D全く異なる原理でつくられていた。江戸の都市空間は様々な仕方で仕切られ、幾重にも分節化されて、市民の生活に身近になればなるほど、細やかな人間的尺度の空間にまとめあげられていたのである。将軍の城下町江戸にとって、防御を固めた〈制度〉としての都市を成り立たせる上で、まずそれが必要であった。城を中心に幾重にも濠が巡り、江戸市中で三六ヵ所にもおよぶ枡形（ますがた）によって通行が遮断され、機能的にも視覚的にも空間が完全に分節されていた。しかも都市の制度は市中全体に住み分けの原理を課し、それぞれの地区に個性あるなりわいを生み出していた。防備の濠が巡るばかりか、下町の町人地はデルタに掘割を残し

て造成・町割されたから、水路によって囲まれた多くの島を形づくっていたとみることもできる。水で囲まれた島といえばすぐに「水の都」ヴェネツィアが思い浮かぶ。そこでは島の一つ一つが空間的にも独立性をもち、生活圏としても人間関係の上でもまとまりのある単位となっている。そこまではいかないにしても、江戸の下町もある意味でそれに似た性格をもっていた。格子状パターンで計画的につくられたとはいえ、均質空間が単調に続くわけではなく、水路で囲まれた島ごとに空間が分節され、それぞれが固有の性格をもっていたのである。

しかも、江戸の各町は木戸で仕切られていた。広重の絵が示すように（図）、たとえ道路がまっすぐ伸びていても、木戸が路上の視線をさえぎり、空間を分節する装置として機能していたことがわかる。さらに、無数の立看板が視線を妨げていたし、路上に髪結床や番小屋が張り出ることもしばしばあった。そもそも江戸の道は、それが直線的な目抜き通りであっても、ローマのバロック道路やパリのシャンゼリゼのように通景の効果をねらった都市を貫通する晴れがましい権威的な道としてはイメージされていないのである。このような木戸は夜には閉じられ、町人は管理の下に置かれたが、逆に安全が保障され、治安はまことによかった。日本の城下町のどこにも見られるこのような木戸は、幕藩体制下の封建的秩序を築き上げる装置としての性格をもつ反面、町ごとの空間的まとまりを生み、社会組織としての各町の結ソク(5)を創り出した。

こうして表通りが木戸で仕切られたばかりか、街区の内側へも路地が引きこまれ、裏長屋の並ぶ庶民の生活空間が無数に形成されて、都市に細やかな襞を幾重にも刻んでいた。路地の奥にはしばしば稲荷が置かれ、住民の精神的シンボルであると同時に、日が射さず風通しも悪い路地の空間が非衛生な場所になるのを防ぐ役割を果していたともいわれる（大河直躬『カラー日本の民家』）。こうして、街区の中にあっても槇文彦氏のいう〈奥〉を感じさせる構成が見られたのである。これも、道に沿って石造の建物が壁を共有してびっしりと並び、堅い街区を形成している西欧都市には見られない、E木の文明圏独特の都市現象なのである。

路地裏の長屋には、大工、左官、棒手振りの魚屋、八百屋、医者、占者、手習いの師匠などが住んだが、明治になると工場労働者、下級サラリーマンといった新たな都市民も住みついた。路地への入口には木戸口が設けられ、公共の道路（パブリック・スペース）と半公共の路地（セミ・パブリック・スペース）とを空間的に明確に仕切っている。そして奥で商売を営む人々は、入口に看板、表札を掲げ、賑やかな雰囲気をつくっている。このような路地の中のいわゆる横丁では、大家と店子の間に信頼関係が結ばれていたし、長屋の住人同士の親密な近所づきあいがくり広げられた。

こうしてみると、江戸には、西欧的な都市全体を統合する自治の中心としての市民広場はない代わりに、都市社会の末端の横丁に小さな広場が無数にちりばめられていたといえる。そうしたミクロな都市空間こそが、近隣の相互扶助の精神による一定の自治をもちながら、安定した社会を支える基盤を構成していたと考えられよう。両者を図式的に対比させるならば、中心によって一元的に組み立てられる〈広場社会〉と、無数の末端が充実していることによって都市社会の安定を生んでいる〈横丁社会〉として捉えられ、こうした社会の仕組みが都市形態にも直接反映していると考えられる。

現在の東京のなかにも、路地を中心とした、いかにも下町らしい生活空間が息づいている地区がいくつか見出せる。その一つ、台東区の旧奥州裏街道に

沿った下谷・根岸地区には、表通りから一歩奥に入った所に、江戸から明治へと受け継がれてきた路地と長屋の世界が、今もしっかりと生き続けている（陣内他『東京の町を読む――下谷・根岸の歴史的生活環境』）。

江戸における中心部の町人地の路地空間については、幅三尺程度の路地に粗末な長屋がびっしり並び、空も満足に見えないようなすさまじい住環境であったことが指摘されているが（玉井哲雄「長屋の住人たち」、『ｉｓ』住居特集、一九八四年三月）、江戸のやや郊外にあたるこの地区の今日に受け継がれた路地の世界を見るかぎり、もはやそういったイメージは全く感じられない。ここでは、町家、長屋の建てられた町屋敷と呼ばれる土地区画は江戸時代ののが現在までほとんど継承されており、路地と長屋の結びつき方もそれほど大きく変わってはいないと思われる。

路地の多くは三メートル程度の幅をもち、その両側にはあちこちに植木鉢が並べられている。長屋も時代とともに便利で使いやすい形態に変化してきた。明治には平屋であった長屋も、大正中期からは、居室を増すために二階建となったし、震災後には、水道・ガスが各戸に引かれたことによってもはや路地と結びつく必要のなくなった台所が裏手にまわり、それに代わって路地に面した表側に、格子をもつ洒落た玄関の間がとられるようになったのである。こうして、路地の空間を大切にし、同時に長屋の機能を改良しながら、高密な下町にあって一定の質をもった住環境が獲得されてきたのである。なかには「ほがらか横丁」というニックネームをもつ路地もあり、奥に置かれた稲荷を中心に、今でもコミュニティの強い結びつきを示している。

こうした路地空間は、車が侵入しないばかりか犯罪もおこりにくく、落ち着きのある住みやすい生活の場を保証している。植木で飾られ、ゴミ一つ落ちていない路地には、共同で環境を維持するための住み手の気配りがすみずみまで行き届いている。買物に行く主婦は、地元の人しか知らないこうした裏道を通って、車に接触せずに用が足せるし、子どもたちは、何本もの路地から組み立てられる変化に富んだ空間を恰好の遊び場として使いこなしているのである。セキュリティの問題で悩む欧米の都市では全く考えられないような、安心して住める環境がここにはある。

李御寧氏は『縮み志向の日本人』のなかで、日本人は全てのことにおいて、スケールを縮め、小さく縮小した物のなかに美を見出す、と指摘している。仕切られ、コンパクトにまとまった空間に居心地のよさを見出すのは、まさに日本人の特性といえよう。日本の都市は、様々な部分において適切な人間的スケールで限定され、落ち着いた環境をつくっているのである。

しかも西欧都市では、バロック以降、馬車が闊歩することを前提とし、直線的で広い街路構成がとられたのに対し、江戸の都市空間はもっぱら舟と歩行に基づいて設計されていた。牛車なども一部に使われたとはいえ、物資の輸送はその多くを水運によっていたのである。空間が細かく仕切られ、しかもゆっくりと移動する低い視点から見られる町並みのデザインは、おのずときめ細かく洗練されたものとなった。F日本の町家の外観は、ある意味で外国の住宅のインテリア以上に繊細で洗練されているといえるが、それもこうした理由による。

身近な空間を巧みに構成し、精緻なデザインで造形した都市のなかにあっては、〈近景〉が重要であったはずである。江戸の町づくりには、壮大なスケールで構想する一方、同時に身近な細やかなスケールを大切にするという二重の構造が存在した。すなわち、都市デザインのなかで〈遠景〉と〈近景〉のど

ちらもが見事に考え抜かれていたのである。

ところが今日では、ビルの乱立と大気汚染でもはや遠景が失われた。富士山や東京湾の潮がとうの昔に見えなくなったばかりか、現代の数少ないランドマークである東京タワーですら見える地点が限られてきている。他方、自動車が都市交通の主役となり、あわただしい世の中でじっくり町を歩くことが少なくなったため、建築細部の繊細な装飾性が失われ、遠くからでも目立つ大ざっぱでけばけばしい建物に変わってきた。こうして都市のなかから遠景も近景も失われ、中景のみしかない均一（G）で変化に乏しい都市風景となってしまったのである。このことが日本の町をつまらなくした最大の原因の一つと考えられる。

陣内秀信，東京の空間人類学，筑摩書房

問一　傍線部（1）～（5）のカタカナに該当する漢字を含む熟語として最も適切なものを①～④から選び、番号をマークしなさい。

（1）ハンにした　①諸般　②判断　③範囲　④出版

（2）折チュウ　①苦衷　②中傷　③抽出　④鋳造

（3）条ボウ制　①防犯　②妨害　③独房　④宿坊

（4）コ張　①虚空　②誇負　③自己　④愛顧

（5）結ソク　①即刻　②約束　③催促　④仄聞

問二　空欄 a ・ b に当てはまる最も適切なものをそれぞれ①～④から選び、番号をマークしなさい。

空欄 a　①試行錯誤　②一意専心　③大同団結　④朝令暮改

空欄 b　①塞翁が馬　②餅は餅屋　③鬼に金棒　④張子の虎

問三　傍線部A「日本の都市には、都市内部と外に広がる自然風景との間に緊密なやりとりが見られる」の内容の説明として最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 日本の都市は、人間が築く建造物によって構成される都市を大地の土地利用と一体とさせる一方で、都市をとりまく雄大な自然における座標軸の上に位置づけて構成している、ということ。

② 日本の都市は、都市をとりまく雄大な自然との関係を強く意識した町作りをしていたため、都市を俯瞰した地図の背後にも都市をとりまく自然やシンボルとなる山を描かざるを得ない、ということ。

③ 日本の都市は、町作りにおいて大地の起伏、水面、植生、それと結びついた土地利用と一体となった調和的な美を構成するように、町のシルエットに格別な配慮がなされている、ということ。

④ 日本の都市は、武蔵野台地の突端の東京湾を望む場所の立地を用いた壮大なスケールの町作りに倣い、山そのものを神の霊の宿る御神体となす信仰を内包する、信仰の都市になっている、ということ。

問四　傍線部B「江戸の下町は、後に開発された江東地区を除けば、格子状プランをとりながらも、いずれも方向が南北―東西の向きから大きく振れている」の理由として最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 都市計画を行う上での手掛かりとして、江戸は陰陽学の四神相応の考えを採用しない都市計画がなされたから。

② 江戸の流通上の最重要地点である、伊勢町のある東堀留と西堀留の堀割を基準として格子状に割り当てられたから。

③ 江戸湾の江戸湊には多くの河川が流れ込んでいたため、京都・奈良のような画一的な格子状プランは不可能であったから。

④ 都市が開発される以前の自然の原地形と、富士山をランドマークとする象徴的な街路によって構成される町割りであるから。

問五　傍線部C「江戸では、都市のなかでの〈遠景〉が決定的に重要なものとして認識されていた」の〈遠景〉の内容として不適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

①　富士山　②　筑波山　③　武蔵野台地　④　東京湾

問六　傍線部D「全く異なる原理」の内容の説明として最も適切なものを次の①～④から選び、番号をマークしなさい。

① 都市の内部には幾重にも濠を巡らし、将軍の城下町としての防御を固める〈制度〉としての原理。

② それぞれの地区に個性あるなりわいを生み出す、堀割を中心として造成・町割りするという原理。

③ 細やかな人間的尺度の空間へと幾重にも仕切り、機能的にも視覚的にも空間を完全に分節化するという原理。

④ 都市全体の壮大なスケール感を演出した自然との関係を切り離し、建造物による生活圏を基本とする原理。

問七 傍線部E「木の文明圏独特の都市現象」の内容と合致するものを次の①〜④から選び、番号をマークしなさい。

① 通景の効果をねらった都市を貫通する権威的な道
② 住民の精神的シンボルであり衛生環境を守る路地
③ 道に沿った石造の建物が壁を共有して構成する堅い街区
④ 街区の内側へと庶民の生活空間が無数に形成される裏路地

問八 傍線部F「日本の町家の外観は、ある意味で外国の住宅のインテリア以上に繊細で洗練されているといえる」の理由として最も適切なものを次の①〜④から選び、番号をマークしなさい。

① 日本人の特性は、全てのことにおいて、スケールを縮め、小さく縮小した物のなかに美を見出すことにあるから。
② 江戸の都市空間は「ミクロな都市空間」へと細かく仕切られ、またゆっくりと移動する低い視点から町並みがデザインされたから。
③ 西欧都市と同様に直線的で広い街路構成が取られたが、日本の路地空間は共同で環境を維持するため安全性が高かったから。
④ 日本の都市は適切な人間的スケールに分節化されたため、それぞれの空間を落ち着いた環境にすることが配慮されたから。

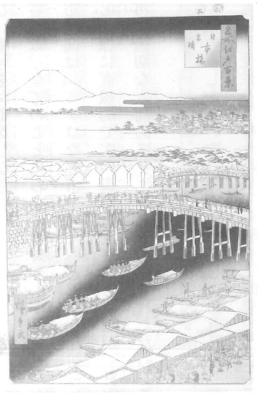
問九 傍線部G「中景のみしかない均一で変化に乏しい都市風景」の内容の説明として最も適切なものを次の①〜④から選び、番号をマークしなさい。

① 時代とともに利便性を求めた結果、平屋を二階建てとして都市のシルエットが変化し、インフラの整備によって路地に開かれた空間を失ったが、一定の質をもった住環境を獲得することになった、ということ。
② ビルの乱立と大気汚染のために象徴としての〈遠景〉を失い、都市内部にある〈近景〉のランドマークすら確認が困難となり、また都市交通の主役が自動車となり、かつての東京独自の都市風景が失われてしまった、ということ。
③ 都市を位置づけていたランドマークである〈遠景〉と、〈近景〉としての細部の繊細な装飾性の両者を失ってしまった結果、現在の東京の風景は二重の「スケール感」を失った画一的な都市となってしまった、ということ。
④ 「ミクロな都市空間」に分節することで近隣の相互扶助の精神による一定の自治が可能であったが、この〈横丁社会〉から一元的に都市を統合する自治をめざす〈広場社会〉へと東京が変貌してきている、ということ。

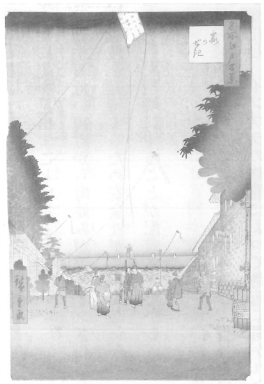
問一〇 次のイ〜ニは後掲の「名所江戸百景」の図について解説したものである。図の内容と合致する解説には①を、合致しない解説には②を、それぞれマークしなさい。

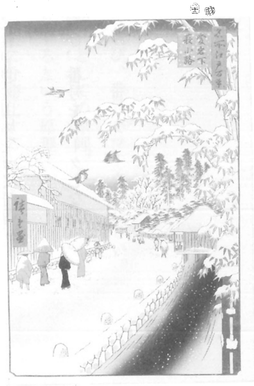
イ [a] は富士山をランドマークとする印象深い景観を描いている。日本橋本町の町割りは富士山を望む方向に合わせて設計されていた。
ロ [b] は遠景に東京湾を配置した景観を描いている。これは実際の景観ではなく、象徴的なイメージを描いているのである。
ハ [c] の画面左には木戸の一部が描かれている。この木戸によって公共の道路と半公共の路地とが空間的に仕切られることになる。
ニ [d] には雪の景観を描いている。「薮小路」の右に描かれた水路によって、都市の遠景と近景のスケール感が構成されるのである。

[a] 「日本橋雪晴」



[b] 「霞がせき」



[c] 「大てんま町木綿店」

[d] 「愛宕下薮小路」